

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートつかぐち		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談しやすい環境を整えている。	家族支援、子育てサポートの充実を図り、日頃の支援や出来事に関する情報交換や、本人の前では相談し辛い内容の場合、別室での相談の場を設けるよう努めている。	未然に抱えきれなくならないよう努めることが優先される。ただし、様々な事情により、家族が抱えきれないしんどさを感じた際、迅速に、かつ気軽に相談がしやすくなるよう、日頃から家族との関係性構築や、コミュニケーションに努めていきたい。
2	親子の安心できる居場所作り	児童それぞれの意向を受け入れたり、その場面ごとの気持ちや話を個別に聞いたりできるよう児童と職員の関係性作り、保護者の気持ちや悩みを傾聴するだけでなく、職員からも保護者への相談を持ち掛けるなど離しやすい環境作り。	職員の保護者支援スキル向上のための研修、保護者の意向を調査したうえで必要に応じた交流の場の提供。
3	子ども達が安心感を感じながら、楽しく通所できている。	アンケート結果より、日々のさまざまな遊び、イベント等充実させていることや、機能訓練職員を配置したり、活動の様子をSNSにアップしたり工夫していることにより満足度が上がっているように感じる。	研修や訓練等ももっと積極的にSNSにわかりやすく発信していけると、より安心して利用してもらえると感ずるため周知を徹底していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所とのつながり	利用家庭の関係機関とは日頃から連携を取り支援にあたっているが、地域の他事業所との情報共有や合同行事など横のつながりが少ない、地域の協議会などへの参加が出来ていない。	インクルージョンや移行支援の視点を日々の支援に取り入れる、他事業所と繋がる事で途切れの無い支援を目指す。
2	保護者支援の拡充	他業務に追われており、個々の家庭への対応で職員が手一杯になっている、保護者ニーズのばらつきがある、保護者支援の必要性は感じているが、どのような支援が出来るかなど知識や手段を持っていない。	法人全体での業務内容の見直し、アンケートなどによるニーズの整理・掘り起こし、研修の受講や見学などによる拡充。
3	個々のニーズに対応することを重視しているため、個別の支援に十分な時間を確保できていない場合がある。支援の質を維持しつつ、子どもに対して効果的なサポートを提供するための時間調整が課題となっている。	支援において、すべてのニーズに対応しようとするあまり、個別支援の優先順位が適切に設定されていない可能性がある。	個別支援に十分な時間を確保するため、スタッフの増員や、支援の役割分担等を見直す。これにより、全体の業務負担を分散し、個別支援の時間を確保できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス・アニマートつかくち

公表日 2025年 2月 9日

利用児童数

10名

回収数

10名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		法令で定められたスペースを確保し、快適に過ごせるよう、レイアウト等を調整し、スペースの有効活用に努めております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	88%	12%	0%	0%		継続して支援の質を向上させられるよう、十分な職員配置に努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		特性に応じ、必要な環境調整や、視覚化など、必要な配慮を実施してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		各種ツールの消毒、支援ルームの清掃を徹底し、気持ちよく来所いただけるよう環境保全に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	67%	33%	0%	20%		多角的な視点を培い、お子様の特性に応じた支援が提供できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	78%	22%	0%	0%		継続して計画書に基づき、段階に応じたプログラムの提供ができるよう努めてまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	88%	12%	0%	0%		多職種による評価を基に、継続してお子様への段階に応じた計画を作成し、支援に携わらせていただきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		お子様や、保護者様を取り巻く環境に少しでも寄り添えるよう、各種関係機関との連携や、家族支援等のサポートを提供してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		日々療育や面談時に、保護者から聞き取りを行い、子どもや保護者のニーズを、より計画に反映できるように努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		新しい活動プログラムの検討も含め、その時々の子どものニーズに応じた活動プログラムが提供できるよう努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	22%	78%	0%	63%		今後必要性を考えながらニーズがあれば取り入れていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	いつも丁寧に説明してもらってます。	入所時にしっかり時間を掛けて説明を行い、理解をしていただくようにしております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		今後も密に積極的な連携を行い、より細かなアセスメントの質的向上に努力してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22%	78%	0%	70%		子育てへの質問、相談はその都度お受けしております。感染症予防の観点よりペアレントトレーニングは実施してあります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	安心しています。	体調や、ライフサイクルに応じた状態の変化など、生活背景を意識して支援にあたるよう心掛けております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88%	12%	0%	5%		保護者の方が気軽に相談しやすい雰囲気づくり・環境づくりをおこなっているように引き続き努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	心強く感じています。	生活背景や、学校園での様子、得意不得意の把握に努め、支援を提供するよう心掛けております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0%	0%	88%	12%	感染症対策の点からも開催はむずかしいと思います。	感染症予防の観点より、現状は保護者会等の開催は行っておりませんが、要望があれば可能な限り検討してまいります。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	迅速かつ適切です。	相談体制については、契約時にご説明させていただき、可能な限りご意向に合わせた相談支援の場を提供できるよう努めております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	外の様子を教えてください。	今後とも円滑かつ柔軟な意思疎通が図れるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%		ホームページにて自己評価表を開示するとともに、活動概要等の情報もブログなどを活用しながら積極的に発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		個人情報等の取扱いについて再度スタッフ間で共有し、取り扱いについての説明を随時できるように努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		保護者様にも閲覧いただけるように各種マニュアルを用意しており、保護者への周知、説明に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	0%	0%	12%		引き続き定期的なマニュアルの確認及び修正を行い、周知徹底を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後とも可能な限り事故やそのリスクを減らしていけるよう、必要な措置を講じてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	長く利用していますが、事故はまだないので良くみてくださっているにだと思います。	基本的にインシデント等が発生した際には、すぐにその場でご報告させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	大変安心している。	今後とも、安心安全に、様々な機会へチャレンジできるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		個々の子どもに応じて活動内容を工夫したり、一緒に活動プログラムを考える等、通所を楽しみにしてもらえよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	成長していくので高校卒業後も含むトータル支援の仕組みだと安心できます。	今後とも満足していただけるよう、保護者や子どものニーズ、思いを把握し、支援について共有していけるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・アニマートつかぐち		公表日		2025年 2月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	子どもが快適に過ごせるよう、レイアウト等を調整し、スペースの有効活用に努めています。	曜日等で児童数が増減しますので、空間が広がったことで、落ち着かない事があるので、環境の調整を適時行っていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	人員配置基準を守り、加算要件を満たす配置を行っている。	曜日等で児童数が増減しますので、引き続き臨機応変に対応してまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	70%	30%	利用児童の安全確保をしつつ、状況・活動内容によって備品の配置や環境設定を変更するなどの配慮を行っています。	利用児童の心身の状態に合わせ、可能な限り物理的な配慮に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	600%	200%	定期的に掃除を行い、清潔に努めている。	時間の空きがない時、稀に拭き掃除などのためスタッフが手薄になる時間がある。業務の優先順位を検討していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	70%	30%	完全独立のスペースを確保しており、勉強はパーティションで区切っており集中できる環境を作っています。	必要に応じて大きいパーテーションや子部屋等の独立スペースが必要か検討してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	都度振り返りについての情報共有を行っています。記録のチェックで周知にも努めています。	今後も職員間での共有に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	頂いた意見を参考に業務の改善に努めている。	今後も保護者、利用者の意向等を把握に努め、ミーティング等で周知し、日々の業務に反映するように努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼・送り終了後に機会を作るようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	※第三者による外部評価は実施していない。	今後必要に応じて検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%		都度必要に応じて検討していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	作成、公表を行っている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	評価と子ども・保護者のニーズに合わせ、活動を組み合わせよう計画の作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	利用児童のケース会議を行い、計画の見直しの必要性などの判断を行うよう努めています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画内容については、支援前に確認してプログラムを立案するよう努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	標準化した検査については対象者やニーズに応じて実施に留まる。行動観察については、頻度、持続時間などの把握に努めている。	今後も子供の状況をしっかり把握したうえで活動内容を考える。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	児童発達支援管理責任者が計画を作成し、仮案をもとにみんなで話し合いをして支援内容を決定	今後も、具体的な計画を作成し支援に繋げていく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	毎月、会議を行い活動内容を意見を出し合い作成している。	支援目標の共通の理解をし、支援の改善をチームで行える様に努めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	毎月の、活動内容の会議の際に、季節のものなど新しいイベントごとを立案している。	今後も、日々の利用者の状況に応じて臨機応変に対応できる様にしていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子どもの状況をしっかり把握し、活動内容を考えて計画を立てている。	今後も子供の状況をしっかり把握したうえで活動内容を考える。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々連携・共有を図っております。	今後も、送迎・支援内容を都度確認し、伝達事項に漏れないように徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々連携・共有を図っております。	今後も何でも気付いた事を言える様に他の話題等も自由に話せる時間を設けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	連絡帳に細かく記載するようにしている。	引き続き問題点があれば話し合い、支援の改善に努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	14%	定期的に計画の見直しもやっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	86%	14%	地域交流が少ないので地域の社会資源の活用を取り入れています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	86%	14%	グループ活動では皆でやりたいことを自分たちで話し合って決める事を取り入れています。	個別療育でも選択の機会を増やせるよう検討していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0%	100%	※参加しておりません。	今後必要に応じて参加を検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	連携し情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	連携し情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	就学前に利用していた保育所や幼稚園などと情報提供は要望があったときのみとなっております。	保護者の要望も聞きながら必要に応じて実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	未だ該当者が発生しておりません。	今後必要に応じて情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		今後必要に応じて実施を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	地域の方との交流は、必要性を感じない保護者さんも多く、特には出来ていません。	今後必要性を考えながらニーズがあれば取り入れていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	特に参加はしていない。	今後、必要性を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	子供の様子で気になる点や問題行動が起こった時には、すぐに保護者に連絡を取って譲歩共有し、適切な対応を取るようになっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		子育てへの質問、相談はその都度お受けしております。感染症予防の観点より現状はペアレントトレーニングは実施しておりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時、その他、必要に応じて説明している。	全職員がしっかりと理解し、説明できるようにしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	86%	14%	自らの意思を伝えるのが難しい利用者が多いが、思いをくみ取って、本人にとって良い選択ができるよう関わっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	都度説明を行っており定期的に計画の見直しもやっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	悩みがあれば相談してもらい、職員間で話し合いし対応させてもらっている。	今後も、相談しやすい関係づくりを大切にしてい

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	コロナ感染防止により、十分に行えていないままになっている。	ニーズに応じて実施を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情対応の体制についてスタッフ間で共有し、指示命令系統に添って対応に努めています。	今後も、苦情に対して周知徹底し、話し合い同じことが起こらないようにしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	実施に関して連絡帳、活動実績に関してはブログにて発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の管理についてスタッフ間で共有し、持ち出し禁止・鍵付き書庫を用いて、厳重に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	療育時に、保護者、子どもの状況に応じて声掛けするように努めています。	必要に応じて支援ツールなどを紹介し、情報伝達できるように努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		交流を嫌がる保護者さんも多く、難しい部分もあるが地域住民の理解を深める為にも、可能なのであれば検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	非常時に対応できるよう、各種マニュアルを策定しいつでも確認できる場所に設置しています。	情勢に応じてマニュアルを改善していけるようスタッフ間で情報等共有し、随時周知していくよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	発作マネージメントシートを作成し利用開始時に記入してもらっている。内服の状況も随時確認をとっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーの有無を確認している。	引き続き保護者の方と相談しながら、対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	研修を行って計画を作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	定期的に行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その都度会議でヒヤリハットについて話し合い、全員で共有している。	今後も、ヒヤリハットに関して、あれば話し合いをし事故防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待に関する研修を行っている。	今後も、研修を行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	必ず記載し、説明を行っている。	今後も、子供の安全のために制限しないといけないことがあれば、事前に保護者に説明し了承を得る。	